

現状と課題

原子力の平和利用と安全に対する国民的議論が高まる中、放射性廃棄物の処分については議論が殆ど進展していません。放射性廃棄物の処分事業を進めるためには、処分地周辺の安全・安心の確保が最も重要なポイントになります。応用地質では、高品質な地質調査技術と3次元化技術により、周辺住民とのコミュニケーションを円滑にし、スムーズな事業推進を支援してまいります。

現状 ・原子力の平和利用の安全に対する国民的議論の高まり
・廃炉に伴い発生する放射性廃棄物問題

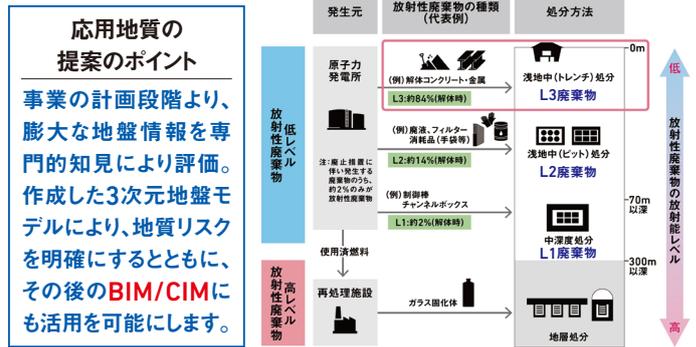
目的 ・すでに発生している放射性廃棄物を処分し、
将来世代へ負担を残さない

課題 ・処分地周辺に対する安全・安心の確保
(周辺環境への影響の評価)

**OYOのもつ高品質な地質調査技術と3次元化技術×DXを
駆使することで、事業者や周辺住民への安全・安心に貢献します**

低レベル放射性廃棄物事業の課題

- ・放射性廃棄物は、**地下に埋設**することで放射線を**地盤で遮蔽**します。
- ・浅地中処分では、地盤の透水性が深部よりも高く、生活圏との距離が近いいため、**地盤と地下水の評価には高い精度と膨大な地盤情報**が求められます。
- ・また、周辺社会の理解及び協力が不可欠であることから、**評価の透明性**が重要となります。



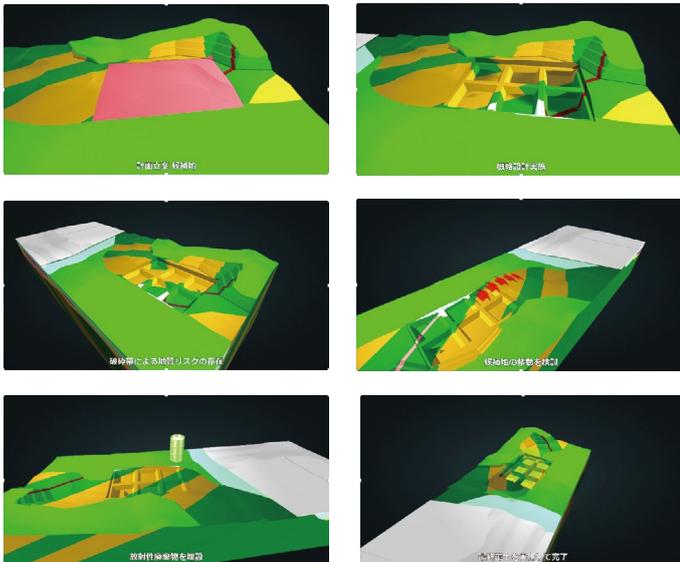
放射性廃棄物の種類に応じた処分方法
経済産業省・資源エネルギー庁ホームページより引用・加筆

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/rw/gaiyo/gaiyo01.html

3次元地盤モデルの利活用

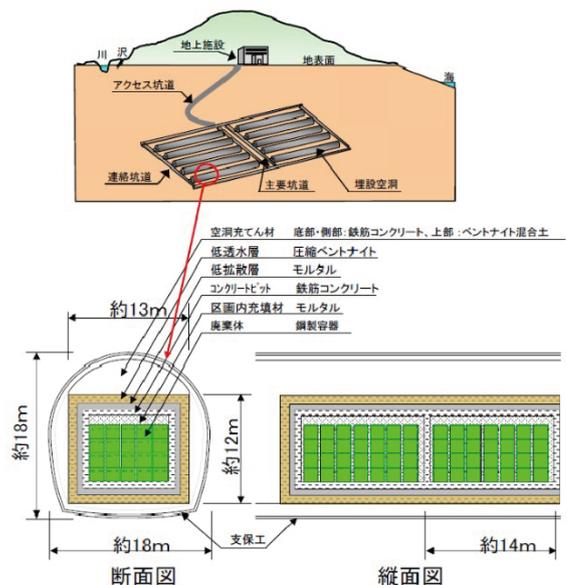
L3廃棄物処分事業においては、適地選定や説明性の高い評価資料の作成に3次元地盤モデルが非常に有効になります。事業の計画、進捗、処分後の各種モニタリング結果等の情報を提供するとともに、周辺住民などステークホルダーに対する円滑なリスクコミュニケーションを支援します。また、応用地質では、そのために必要な各段階での適切な地盤調査計画もご提案します。

3次元地盤モデルの利活用事例



地盤情報の重要性

放射性廃棄物処分は、原則として地中に埋設することで行われます。このため、地盤構造を精緻に把握することが極めて重要です。応用地質では、高品質な地質調査技術・3次元化技術により、お客様の課題を解決してまいります。



出典: 第2回廃炉等に伴う放射性廃棄物の規制に関する検討チーム会合 (平成27年2月12日) 資料2-18

中深度処分の概要図 (経済産業省・資源エネルギー庁ホームページより引用)

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/rw/gaiyo/gaiyo01.html